

アンケート調査の取りまとめ(地域の意見)と今後の方向性について

1. はじめに

生駒市では平成22年度に「生駒市地域公共交通総合連携計画（以下、連携計画とする）」を策定し、既存の公共交通を活用するとともに、高齢化の問題に対応できる公共交通のあり方・手段に関してこれまで検討を重ねてきた。

公共交通を導入するにあたっては、高齢化率や急峻な地形であるか否かなど、いくつかの指標に基づいて、公共交通を提供する地区の選定及び公共交通サービスを提供する地区の優先順位を定めた。その結果、現時点では、本町地区（門前線）、南地区（西畑・有里線）、北新町地区（北新町線）、萩の台地区（萩の台線）、光陽台地区（光陽台線）において、公共交通サービス（当該5地区では、コミュニティバスを採用）が導入されている。

連携計画が策定されてから約10年の月日が経過しようとしており、計画策定当時より社会情勢も変化しているため、今一度、日常生活における公共交通の利用状況を把握し、今後の検討に活かしていく必要がある。そのような背景のもとで、今回、生駒市内の公共交通の利用状況を把握するために、委員各位のご協力のもとアンケート調査を実施した。

本資料では、実施したアンケート調査の結果の取りまとめ（地域の意見集約）及び今後の方向性について整理を行った。

※また、頂いたアンケート調査の結果については、住民の方々にフィードバックすることを考えている。（令和元年10月中を目途にフィードバックを実施する予定としている。）

2. アンケートの調査結果について

2.1 調査結果について

2.1.1 公共交通が利用しづらいという住民の意見について

- ・現行の公共交通に対して利用しづらいと感じている住民の多くは、バス停の新設や経由地の検討、便数の増便などの改善策を求めていることがわかる。
- ・特にコミュニティバス運行地区における住民の意見によると、土日の運行や夕方以降（18時～21時頃）における運行を求めていることがわかる。

2.1.2 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段について

- ・買い物へは家族・近隣住民による送迎やタクシーの利用、生協（COOP）などの宅配サービスを利用していることがわかる。
- ・一方で、病院へは家族・近隣住民による送迎やタクシーの利用、往診依頼サービスを利用していることがわかる。
- ・鹿ノ台地区では、無料で送迎支援を行うボランティア委員会が設置されている。

2.1.3 その他

- ・免許返納後の移動手段として、公共交通機関以外では、電動アシスト付き自転車やシニアカーなどを検討している人もいる。
- ・公共交通が充実していないことで、免許返納をするかどうか迷っている人もいる。（免許を返納しても、移動手段が確保されていなければ生活ができなくなるため不安であると感じている）
- ・公共交通に対して、安価な運賃（100～150円）による利用を求めていることがわかる。
- ・公共交通の充実性によって、免許返納を検討するという考えもみられる。
- ・乗合タクシーの導入（ドア to ドアサービス）を求める意見もみられる。

各地区におけるアンケート調査結果の概要（コミュニティバスが運行している地区）

北地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
運行地区なし	—	—	—

西地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
光陽台（地区自らでアンケート調査を実施）	<ul style="list-style-type: none"> ・便数（1便/時）が少ない ・運休日がある（市の計画する催物が土日なので、両日とも運行してほしい） ・運賃が高い（夫婦で病院に行く場合、往復だと高額となり、費用負担がづらい） ・車いす利用者への対応は可能なかどうか質問したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩で移動している ・自ら自家用車、単車を運転 ・タクシーの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の時間帯の増便や土日の運行を検討してほしい。 ・停留所を増やしてほしい ・30分間隔に運行してほしい ・安価な運賃での利用（運賃が上がるとかえって利用しなくなる） ・停留所名にローマ字を表記してほしい ・既存ルート以外にも集客が見込める路線、時間帯を含めた採算性が取れるような検討をしてほしい ・定期的な運行ダイヤの見直し ・今後も見据えて、学生も含めた若い世代にも利用してほしい

中地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
その他の地区	<ul style="list-style-type: none"> ・軽井沢町近くを通るルートに変更してほしい。 ・門前線におけるバス停の乗降場所を改善してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・北新町線では運行距離が短いにもかかわらず費用負担が大きい。（運行距離を延伸してほしい。）

東地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
運行地区なし	—	—	—

南地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
萩の台	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの定員が少ない（乗れないのでは？帰れないのでは？という不安） ・便数が少ない（≒乗りたい時間に便がない） ・運休日がある（土日、年末等の買い物の回数が増えるときに運休となっている。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に住む住民や家族に頼って買い物や病院に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・萩の台線では、利用者負担が満足せず廃線も考えられることから、免許返納を躊躇しているのではないかと。 ・免許返納を躊躇して自ら運転することで事故につながらないか心配である。 ・近大病院行ってほしい
萩原町	<ul style="list-style-type: none"> ・バス乗り場までが遠いため、利用しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車を利用している。（マックスバリュ⇒オークワ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・最寄りのバス停から、生駒駅、生駒市民病院、生駒市役所にバス一本で行けると安心である。

※空白欄は設問の未回答である。

各地区におけるアンケート調査結果の概要（コミュニティバスが運行していない地区）

北地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
鹿ノ台	・バス停までの歩行が厳しいため、既存のバス停と自宅の間に停留所を設置してほしい。	・ボランティア委員会（いきいき街づくり会）を設置し、無料で送迎支援を行っている。 ⇒利用希望者増加に対応するサポート体制が追いつかない	・たけまる号の充実もよいが、身体的な理由で活動できない人への支援が一番大事である。 ・どういう人に視点を合わせた施策を行うのか見直す必要がある。 ・SDGs3(すべての人に健康と福祉を)
鹿畑町	・バス停・駅までが遠い	・家族による送迎	・鹿ノ台にコミバスを導入する際は鹿畑町も含めてほしい。 ・フリー乗降制
北大和1丁目		・家族による送迎 ・タクシーの利用	・安価な運賃（100円）での利用 ・高の原（奈良市）に行けると楽であるという話はよく聞く。 ・北大和⇄市役所間をバスで行くことができれば便利である。 ・免許返納後は電動アシスト自転車
北大和2丁目	・問題提起なし		・安価にドア to ドアができるサービスが欲しい
北大和4丁目		・家族による送迎 ・介護タクシー ・生協(COOP), 宅配	・たけまる号の周知が必要 ・ICカードの利用(たけまる号)
北大和5丁目	・問題提起なし		・手ごろな運賃での利用
真弓1丁目	・電車の運行間隔（特に昼間時間）の短縮（15分→7分程度）		・学研北生駒駅を中心とした、真弓・真弓南・北大和を循環するバスがあれば利用する人もいると考える。
真弓2丁目	・学習、行事、スポーツ等に参加しやすいような公共交通のサービスを検討してほしい。	・シルバー人材センターと契約し、それぞれの地域包括支援センターでヘルパーに助けられて買い物、病院等に出かける。	・運行頻度、路線の拡大 ・路線の地図やバスの時刻表を広報で知りたい。
真弓南	・学研北生駒駅まで遠い ・生駒駅、公共施設（市役所、せいせいビル、たけまるホール等）へ行くのが不便 ・バス3車で190円は高い	・宅配利用 ・自家用車を利用 ・タクシーの利用 ・家族、近隣に住む住民による送迎 ・アシスト付き自転車	・安価な運賃での利用(100～150円) ・一人暮らし、免許返納した時、交通網の充実を図らないと日常生活が不安で住みづらい。 ・真弓4丁目から富雄川向き（あすか野、白庭台方面）への公共交通手段ができれば便利
上町		・家族、近隣に住む住民による送迎 ・生協(COOP), 宅配 ・ネットショッピング、通販 ・タクシーの利用 ・往診を頼む	・ネット、通販の利用で公共交通の利用が減るかもしれない。 ・シニアカー、電動車いすを使用するため、歩道の整備(草刈等)が必要 ・安価な運賃での利用

北地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
白庭台		<ul style="list-style-type: none"> ・宅配 ・介護サービス、介護タクシー 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する要望はない。 ・公共交通を廃止し、民間の介護サービスに対する助成支援等へ切り替えるほうが有効利用につながる。 ・コミバスが運行していない地区には何らかの補完策を講じなければ税利用の地域格差（不公平感）に対する批判が出ると思われる。
上町台	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代が多く、移動手段は自家用車を利用しており、不便さを感じていない。 		
高山町(傍示)	<ul style="list-style-type: none"> ・本数が少なく、最終便の時間帯も早いので通勤・通学で利用しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、近隣に住む住民による送迎 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が充実すれば免許返納にもつながる。 ・富雄行でなく、学研北生駒駅折返して経費削減が図れるのではないか。
高山町(獅子が丘)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内⇒バス停(傍示南)が遠い ⇒バス停までの林道では道も狭く、蛇や蜂に遭遇しており危険である。 ・学研北生駒駅からの最終便(18:49)が早く、利用しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、近隣に住む住民による送迎 ・町内の老人ホームの乗合いバスを利用している。 ⇒ただし、周囲の時間帯に合わせて移動しなければならないため、自由には行けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安価な運賃での利用 ・平日もバスを運行してほしい。 ・免許返納を推進しているが、返納すると日常生活に支障をきたす。(その不安から高齢になるとやむなく家を売却する者が多い。)
高山町(圧田)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停までが遠い ・運行本数が少ない(特に日中) ・乗降時の段差がづらい ・運賃が高い ・目的地(e.g. 生駒市民病院)までの乗換が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の休暇に合わせて病院へ送迎してもらう ・宅配サービス、通販の利用 ・(仕方なく) タクシーを利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーの導入 ・地域内タクシー会社を設立し、市が補助する。(退職者の雇用) ・安価な運賃での利用
高山町(大北)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行本数が少ない ・運賃が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、近隣に住む住民による送迎 ・知人に買い物をお願いする ・宅配サービス、通販の利用 ・タクシーの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・安価な運賃での利用 ・日常生活維持のため、自家用車私用の補助がほしい。 ・公共交通の改善(免許返納のためにも)
高山町(宮方)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行本数が少ない ・運賃が高い ・バス停までが遠い 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的に付き合いのある人に「無理」を頼んで送迎してもらう ・ボランティアで活動している人にたまに送迎を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、高齢者の利用が多い電動カーに補助金を交付するなどの制度を検討してほしい。 ・社会福祉等を重点に考えるならば、僻地(高山地区)対策を検討すべき

北地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
ひかりが丘	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃が高い ・バスの運行本数が少ない ・最終バスの時間が早い 	<ul style="list-style-type: none"> ・生協 (COOP)、宅配 ・病院へは、生活総合支援を利用し、送迎を依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が急速に進んでいるため、コミュニティバス等の支援の検討をしてほしい

西地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
東松ヶ丘	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提起なし 		

中地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
その他の地区		<ul style="list-style-type: none"> ・生協などの宅配を利用 ・コンビニの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・急傾斜地において屋外エスカレーターの設置 ・シニアカーの設置も検討すべき

東地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
その他の地区	<ul style="list-style-type: none"> ・問題提起なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車の利用 ・タクシーの利用 ・路線バス, 近鉄線 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3セクター方式で会社を立ち上げて官・民間と共同運営にする →奈良先端大学と共同参画コマンド方式で運営できないか

南地区	(1) 公共交通が利用しづらいという住民の意見について	(2) 身体的な理由等で外出が困難な人の買い物・通院への移動手段	(3) その他意見
有里町	<ul style="list-style-type: none"> 田口クリニックのバス停まで行くのが大変である。 ⇒フラワリータウン内までバスを運行させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 宅配（オークワに電話で注文して届けてもらっている） 通院はタクシーを利用。 	<ul style="list-style-type: none"> フリー乗降制を導入してほしい 近大病院まで行ってほしい。
壱分町	<ul style="list-style-type: none"> 特に不便さを感じている人は少ない。 しかし、地域全体として道幅が狭く、アップダウンが多いため、車の通行や高齢者は駅までの徒歩は負担である 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的にはタクシーを利用 家族による送迎 宅配サービスの利用 	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの導入（クーポン券などの補助サービスも含めて） ⇒ドア to ドアサービスが可能となり、(1)(2)の課題が解決する。
南小平尾	<ul style="list-style-type: none"> 運賃が高い 最寄りの公共交通機関は鉄道しかなく、駅まで歩くには少し遠いし、坂道などもつらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族による送迎 自転車で行く 自ら自家用車、単車を運転 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで安心・安価・便利に利用できる公共交通サービスの充足に向けた検討を行ってほしい。
その他の地区	<ul style="list-style-type: none"> バス停まで行くのがつらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 徒歩で行く。（マックスバリュ⇒業務スーパー、ダイキ） 自転車を利用する。（マックスバリュ⇒オークワ、万代） 通院の際は近鉄電車を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 北小平尾地区において、自宅付近から南生駒駅までの運行を希望している人がいる。 生駒駅前商店街、生駒市民病院への運行を検討してほしい。

※空白欄は設問の未回答である。

2.2 調査結果に対する考察

- ・コミュニティバス運行地区に関して、土日や祝日（年末年始等）の運行を求める意見も挙げられているが、バス事業者による人手不足などの問題が生じていることから当該内容については、必要性の検討も踏まえて慎重に議論していく必要があると考えられる。（コミュニティバスに限らず、様々な移動手段を踏まえて検討を行う必要がある。）
- ・乗合タクシーの導入（ドア to ドアサービスを可能とすることで利用者の負担が軽減する（バス停まで移動することが困難な利用者も存在する））を求める声も上がっていることから、新たな移動手段（コミュニティバス以外の手段）として導入に向けた検討を行うことも好ましいと考えられる。ただし、タクシー事業者との連携も必要であることから慎重に検討を進めていく必要があると考えられる。
- ・現在5地区に公共交通サービス（5地区ともにコミュニティバスを採用）を提供しているが、公共交通サービスが導入できていない地区も多く存在している（公共交通サービスを提供してほしいという意見も挙げられている）ことから、何らかの補完策を検討し、実施可能な範囲で対応することが好ましいと考えられる。
- ・鹿ノ台地区のように地区独自のボランティア委員会を設立し、地域の住民同士で助け合うことも移動手段確保のための1つの手法であると考えられる。（活動実施のためには今後の動向をみながら、地域と市で連携を図っていくことが求められる）

3. 今後の方向性について

3.1 今後、検討を進めるうえで対策案として考えられる案について

今後、各地区における地域の現況や課題点（人口・高齢者比率、）を整理し、地域特性等を踏まえた対策案の検討を進めていくことを想定している。なお。検討に際しては、今回実施したアンケートの調査結果・住民の意見も参考に、各地区に適応した対策案の検討（コミュニティバスに限らない、様々な交通手段について検討）を行うこととする。

さらに、今回のアンケートの調査結果・住民の意見を踏まえ、以下に示す視点からの検討も進めていくことが好ましいと考えられる。

- ・ 住民・企業等への周知（協賛金による費用負担の軽減）
- ・ 現金や回数券での支払いだけでなく、ICカードを用いた運賃支払い（高齢者・障がい者をはじめとした公共交通利用のバリア軽減）
- ・ 自家用車に代わる移動手段の確保など（自家用車代替手段となる電動アシスト自転車やシェアカーなどの導入を視野に入れた検討）
- ・ 既存路線バスのルート変更（ルートの延伸や経路変更（時間帯に応じた変更も含む）を視野に入れた検討）
- ・ 病院線（北新町線、光陽台線）の補助（現状では生駒市立病院まで運賃が400円（/片道）であることから、乗継割引を行うなどの対応を視野に入れた検討）
- ・ フリー乗降制の導入
- ・ 地域コミュニティ形成のための支援策（地域独自のコミュニティを形成する際の何らかの補助支援（地域独自でボランティア組織を形成し、自らで送迎を行う際の保険料の一部負担など）を行う⇒住民の方々自ら活動することで地域の活性化にもつながる。）
- ・ 介護・福祉輸送との連携（介護タクシー等と調整を図りながら、移動が困難な住民を支援する）
- ・ 相乗りの斡旋（同じ目的（買い物、通院等）を持つ地域住民に対して、タクシーなど一緒に乗り合わせるような体制の構築を行う。）

3.2 連携計画の候補地区における対策案（たたき台）

- ・本節では、今後、公共交通サービスの提供内容について検討を進めていく次の候補地区（公共交通サービスが導入されていない地区）に対して、現時点における考え得る対応策（たたき台）について整理を行った。
- ・次頁に対象となる地区（候補地区）を示しており、当該地区に対して考え得る対策案について整理を行った。

対策案	対策案の内容	候補地区
既存の路線バスのルート変更の検討	ルートの延伸や経路変更（時間帯に応じた変更も含む）を視野に入れた検討	高山地区、北田原地区、鹿ノ台地区、真弓地区
フリー乗降制の導入	駐停車が困難な場所もあることから、特定の区間での導入を視野に入れた検討	
自家用車に代わる移動手段の確保（自宅⇄駅・バス停間の短い区間の移動手段）	自家用車代替手段となる電動アシスト自転車やシニアカーなどの導入（地域内でシェア・置場の設置など）	高山地区 北田原地区 鹿ノ台地区 桜ヶ丘地区 菜畑地区 真弓地区
地域一体となった支援体制構築の支援	地域独自のコミュニティを形成する際、何らかの補助支援（地域独自でボランティア組織を形成し、自らで送迎を行う際の保険料の負担など）を行う	
介護・福祉輸送との連携	介護タクシー等と調整を図りながら、移動が困難な住民を支援する。	
相乗りの支援	同じ目的（買い物、通院等）を持つ地域住民に対して、タクシーなど一緒に乗り合わせるような体制の構築	
デマンドタクシーの導入（デマンド型交通）	利用者の事前予約により運行を行う、デマンド型交通の導入について検討	

公共交通サービス提供の優先順位の区分

優先順位の区分	対象地区		理由
	平成 22 年	平成 27 年	
①直ちに検討に着手し、2～3 年以内に公共交通サービスの提供を目指す地区	<ul style="list-style-type: none"> ・本町周辺地区 ・南地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・本町周辺地区 ・南地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年に 75 歳以上人口比率が 20%を超えている ・公共交通サービスがない ・地形が特に急峻である（勾配 10%以上）
②高齢化等の問題が顕在化すると考えられる時期（概ね 5 年後）に合わせ、公共交通サービスの提供を目指す地区	<ul style="list-style-type: none"> ・高山地区 ・北田原地区 ・鹿ノ台地区 ・真弓地区 ・あすか野地区 ・桜ヶ丘地区 ・光陽台地区 ・東生駒地区 ・萩の台地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・高山地区 ・北田原地区 ・鹿ノ台地区 ・あすか野地区 ・桜ヶ丘地区 ・光陽台地区 ・萩の台地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年に 75 歳以上人口比率が 20%を超える見込みである ・公共交通がなくて困っている人が多い＝交通実態調査期間中（1 週間）に「外出したいが外出をあきらめた人」の割合が 15%以上である。
③高齢化等の問題が顕在化すると考えられる時期（概ね 10 年後）に合わせ、公共交通サービスの提供を目指す地区	<ul style="list-style-type: none"> ・菜畑地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・菜畑地区 ・真弓地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 32 年に 75 歳以上人口比率が 20%を超える
④現在の公共交通サービスで問題に対応可能と考えられる地区	<ul style="list-style-type: none"> ・新生駒台地区 ・松美台地区 ・喜里が丘地区 ・生駒台南地区 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生駒台地区 ・松美台地区 ・喜里が丘地区 ・生駒台南地区 ・東生駒地区 	

※1 萩の台地区：コミュニティバス導入済み

※2 光陽台地区：コミュニティバス導入済み

※3 あすか野地区：路線バスの延伸済み

【参考資料】

■アンケート調査票

アンケート調査票【公共交通の利用実態について】（コミュニティバスが運行している地区）

- (1) 〇〇〇地区では、コミュニティバスが導入されていますが、なお公共交通が利用しづらいというご意見を住民の方から聞かれたことはありますか？

ある場合は、どのような内容を聞かれたのか、具体的にご記入ください。

- (2) 身体的な理由で外出することが困難な人や、バス停が遠い・行きたい時間帯に行けないなどの理由で公共交通が利用できない人は、普段の買い物・病院等はどのようにされていますか？

- (3) そのほか、住民の方々から寄せられているご意見や、公共交通に関して今後検討すべきであると考えられる課題、その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。(e.g. : フリー乗降制の導入、手ごろな運賃(100~150円)での乗車、東西方向への移動手段の検討、免許返納も視野に入れているが公共交通のみで日常生活を送るのは不安である など)

アンケート調査票【公共交通の利用実態について】（コミュニティバスが運行していない地区）

- (1) 〇〇〇地区では、公共交通が利用しづらいというご意見を住民の方から聞かれたことはありますか？ある場合は、どのような内容を聞かれたのか、具体的にご記入ください。

- (2) 身体的な理由で外出することが困難な人や、バス停が遠い・行きたい時間帯に行けないなどの理由で公共交通が利用できない人は、普段の買い物・病院等はどのようにされていますか？

- (3) そのほか、住民の方々から寄せられているご意見や、公共交通に関して今後検討すべきであると考えられる課題、その他ご意見等ありましたら、ご記入ください。(e.g. : フリー乗降制の導入、手ごろな運賃(100~150円)での乗車、東西方向への移動手段の検討、免許返納も視野に入れているが公共交通のみで日常生活を送るのは不安である など)